



s a k u r a

さくらめえる

第 67 号 (28 年度第 3 号)

平成 29 年 1 月 10 日 (火)

さくら幼稚園 園長 片岡 大助
[みどりご園副園長・さくらんぼ園長]

m a i l

新年おめでとうございます。

平成 29 年 4 月「認定こども園 さくら幼稚園」開園をめざして④…

9 月下旬から始まった、認定こども園さくら幼稚園園舎新築工事も、約 1 か月の遅れをとり戻すかのように進捗し、年末年始のひとときの休工期間を終え、2 月竣工に向けての槌音が力強く響いています。

おかげさまで、定員の 180 名は確保できる見通しです。内訳は 1 号認定が定員 125 名より 20 名ほど少なく、2 号認定定員 48 名に対しては 75 名の申込、3 号認定 7 名に対して 11 名の申込がありました。1 号についても定員超過の 2 号・3 号についても、全員を受け入れる方向で調整してもらっているところです。(平成 28 年 12 月末現在)

肝心かなめの入園手続き関係は、1 号認定につきましては、1 月 25 日付で内定書を発行しました。本来であれば、内定通知後速やかに入園に係る重要事項説明を行って入園契約を結ぶのですが、これまで園で決めてきた保育料(利用者負担金)の決定権が登米市に移行したため、2 月の定例議会を経て通知すると通告され、非常に戸惑っているところです。更に、1 号認定の延長預かり保育も、登米市で作るべき要項が未作成だったため、金額を示すことができません。いずれに致しましても、保護者負担を軽くしてもらえることを前提に交渉しているところです。新しい情報が入り次第随時お知らせしてまいります。

2・3 号認定につきましては、認可保育所みどりご園やたんぽぽ保育園と同じ要領ですので、2 月初めに登米市から一斉に許可書が発送された後、速やかに入園手続きに入りますので、もう少々お待ち願います。

新築工事が進み、園内の間取りを確認するために、工事の邪魔にならない時間帯に私はじめ先生たちにも見学をさせてもらっています。実際に見ることで、図面だけではイメージできなかった各部屋の位置や環境がわかり、園児机やロッカーなどの確認及び遊具類の配置について具体的な話しができるようになりました。いよいよ開園のための諸準備をスピーディーに進めていく段階に入ったことに身が引き締まる思いです。

1 月 7 日の新聞に「大人になったらなりたいもの」(第一生命保険の調査:全国の幼児・小学生 1100 人の回答集計)調査結果が掲載されていました。女の子の第 1 位は、20 年連続食べ物屋さんでしたが、第 2 位にランクインしたのは幼稚園・保育園の先生でした。しかし現実には、処遇改善が進みつつある保育業界ですが、人手不足は相変わらずです。あらゆる業種で人手不足という負のスパイラルに陥っているのも要因だとはいえ、あこがれの職業の上位にランクされる幼稚園や保育園の仕事が、アンケートに答えた子供たちのあこがれの存在であり続ける努力を惜しんではならないと感じました。平成 28 年度は、さくら学園全体で 6 名の職員が産休・育休に入りました。今年の 1 月に 1 名、4 月に 3 名復職しますが、新たに産休・育休に入る予定者もおります。過去には、結婚や出産は退職の大きな理由になった時期もありましたが、それは昔のこと。「いい幼稚園ですね。ステキな保育園ですね。」と言っていただくためには、教職員が安定し、安心して働ける職場環境が何より大事だと改善の努力を続けています。平成 29 年度に向けての学園全体の新採用教職員は 7 名になりますが、努力の成果も少しは出ているかなと安堵しているところです。

お知らせ * 佐藤澄江先生が、かねてからの病気のため平成28年12月末で退職しました。非常に残念ですが、今後治療に専念したいということです。一日も早く復帰できるよう祈るばかりです。

* 配布した「幼年国語教育会だより」にさくら学園の紹介記事が掲載されています。是非お目通し下さい。